



# 岡田

ふるさとの やさしさを  
たくわえて 志高く生きる  
岡田の子

舞鶴市立岡田小学校  
学校だより  
12月号  
令和6年11月29日

## 「学校の役割 人とのつながりを学ぶ場」

急ぐように色づいた葉も木枯らしにより勢いよく舞い散り、すっかり秋を通り越して冬支度が始まったようです。11月は市の小学校合同音楽会、駅伝記録会、わくわく広場の実施など、子どもたちの成長や地域とのつながりづくりになくてはならない活動がありました。協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

さて、11月上旬から人権旬間の取組をしています。人権はじめの会では、人権擁護委員の小谷先生から「ふわふわとちくちく」の絵本をもとに自分のふるまい（友達への言葉かけ）について振り返る機会をもらいました。

また、一人ずつ学級担任と面談をしたり、人権学習の中で人権について考えたり、温かなつながりづくりを目指した児童会の提案に取り組んだりしています。

人権は、学校の中でも守られなければなりません。しかし、学校は小さな社会であり、その中で生活していますので、時には自分の言いたいことが言えず、思いをぐっと我慢していることもあると想像できます。そして、いろいろな葛藤を持ちながら、自分の希望だけでなく、相手のことも思って折り合いをつける経験も重ねていると予想できます。そのような背景があると捉え、社会に出る準備段階の学校は、自分も相手も大切に考える考え方や行動ができる子どもの心を育てていく役割があると考えます。

子どもの気持ちを受け止めながら、全教職員で「いじめは許さない・許されない・見逃さない」を伝え続け、人権が守られる安心・安全な学校づくりに努めます。



ちくちく言葉を声に出して読んでみました。多くの人が平気な気持ちで読んでいた様子でした。先生から「ちくちく言葉を使うときは、言っている人は平気なことが多いんだよ」と聞きました。ふわふわ言葉は言われたら温かい気持ちになる言葉だとみんな分かっていました。ちくちく言葉をふわふわ言葉に変えて伝えるとよいことを教えてもらいました。

また、SNSの急速な発達、タブレット端末を使った学習が当たり前のように行われる今、ICT端末を適切に扱う責任やSNSの正しい使い方・付き合い方を学び、ネットトラブルに巻き込まれたり巻き込まれたりしないことも真面目に考えさせていくことも大切だと思っています。学校でも、引き続き情報モラル教育を進めていきますが、保護者の皆様にも「ラインやネットゲームは見えない世界だ」と子どもに任せるのではなく、子どものSNS利用の状況には関心を持ち、ネットトラブルにつながる行為は止める働きかけをぜひしてもらいたいです。

これからもたくさんの人と関わり、人の役に立ったり、褒められたり、頼りにされたり頼ったり、「居場所・やりがい・つながり」のある生活経験ができるよう、教職員全員で教育活動をすすめてまいります。

一人一人が大切な子どもです。保護者の皆様、地域の皆様にも変わらず心の成長に欠かせない温かな言葉かけや支えを今後ともよろしく願いいたします。

2学期もあと1か月足らずとなり、2学期の学びを振り返る大切な時期です。朝晩の気温差で体調を崩しがちですが、生活リズムを整え、子どもたちが健康で2学期を終えることができますようご協力をよろしく願いいたします。

舞鶴市立岡田小学校 校長 森 祐子  
教職員一同

HP 順次更新中  
okada-maizuru.edumap.jp  
QR の読み込み OK



豊かな学びを創り、ともに育つ学校  
岡田小学校